

右ノ通り実行スル時ハ一ケ年二百五十万俵ノ棉糸生産中其
以ハ棉布原料及糸ノ輸出トナルモ尚百六十万俵ノ国内棉糸
消費アリ毎年千万両近ク収入アリ且ツ釐金及棉花輸入税
ハ現率据置キナラバ政府ハ千万両只儲ト相成可申妥協容
易ト存ジ候

此意見ハ先日公使ト会見ノ公開席上ニ於テ小生発表仕候、
鐘紡長尾氏モ大賛成ニ有之候、日本ヨリ職工ヲ青島ニ送り
営業スル杯ハ飽迄挑戦的態度ニテ此方法ハ将来禍根ヲ胎ス
事ト相成可申候

長尾氏モ同意見ニ有之候

支那人ハ日貨排斥ノ場合ニ於テ不良ナル支那棉糸ヲ日本人
経営紡績ノ良質棉糸以上二十両モ高ク払ヒテ平気デ居ル事

(二 字分欠カ)
故五 六兩ノ消費税ヲ一体ニ掛ケテモ大シタ差支無之カト
存居候

尚此契約ヲ為ス場合ハ支那人紡績ニ生産奨励金ヲ特別ニ呉
レル杯ト云フ方法ハ支那政府ニ於テ絶対ニ為サザル旨ノ契
約必要カト存居候右ノ事情御含ミ置キ被下度御願申上候

草々

昭和四年十月八日

兒玉一造

船津尊台

侍史

付二 青島在華紡罷業問題

693 昭和4年6月19日 在青島藤田総領事より
田中外務大臣宛(電報)

青島在華紡の工会活動活発化と職工風潮悪化
につき中国側へ警告について

青島 6月19日後発
本省 6月19日後着

第一九五号

当地我紡績工場方面ニ於ケル工人風潮ハ先般内外棉ニ於ケ
ル抵抗ヲ切掛ニ漸次悪化ノ徴アリ即市党部ハ未タ承認ヲ与
ヘタル事ナシト言明セルニモ拘ラス各社内ニ設立セラレタ
ル工会ハ不良分子指導ノ下ニ公然活動ヲ続ケ善良職工ノ加
入強要ハ勿論昨今ニテハ罷工資金トシテ会員ヨリ三十銭乃
至一円ノ会費徴収ヲ開始スルヤノ噂モアリ一方各工場内ニ
於テハ規定ノ休業時間前ニ機械ノ運転ヲ停止シ作業時間中
公然ト居眠リシ故意ニ早退シテ皆勤手当ヲ要求シ言懸ヲツ
ケ会社側ニ忠実ナル守衛ヲ殴打シ監督ノ日本人ニ品物ヲ投
ケ付ケ故意ニ窓硝子ヲ破碎スル等会社ニ対スル「嫌ガラ

セ」の行動殆ト連日繰返サルル為会社トシテモ此ノ上隠忍
スルハ却テ得策ナラスト為シ前日如上ノ如キ実情ヲ詳述シ
且若シ現在ノ如キ乱脈状態ヲ持續スルニ於テハ或ハ六会社
ノ一律主動的ニ休業ヲ断行スルノ已ム無キニ立チ至ル無キ
ヲ保シ難キニ付局面打開ノ為此ノ際最善ノ措置ヲ講セラレ
タキ旨ノ陳情書ヲ提出シ来レルヲ以テ本官ハ昨十八日吳思
豫ヲ往訪事態説明ノ上不良分子ノ嚴重取締方ヲ要求シ且成
行ノ如何ニ依リテハ治安ヲ乱スニ至ルヘキ虞アル事ヲモ指
摘シテ豫メ警告ヲ与フルト共ニ更ニ本十九日陳仲孚及吳思
豫ニ宛テ同様ノ趣旨ノ公文ヲ以テ要求警告シ置ケリ昨日会
見ノ際吳ハ取調ノ上充分取締ルヘシト返答セルモ主腦者タ
ル市長ヲ缺ク当地ノ現状ニ顧ミ吳カ果シテ何ノ程度迄責任
ヲ以テ取締ヲ要求スルヤ相当懸念ナキ能ハス
支、上海、南京、天津ニ転電セリ

694 昭和4年7月13日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島在華紡経営者側「不良職工」を解雇リスト
あれば一斉休業方決議を中国側へ通告について

第二二六号

青 島 7月13日後発
本 省 7月13日後着

当地邦人工場ニ於ケル工人ノ風潮悪化ニ就テハ折角船津トモ協議シ表裏両面ヨリ支那側官憲ヲ督励シテ極力局面ノ打開ニ努メ居レルモ其ノ取締依然徹底ヲ缺ケル為不良分子ノ策動ハ益々旺盛ヲ極メ作業能率ノ低下又ハ作業上監督者ノ命ニ反抗シ暴力ヲ以テ工場経営上ノ統制ヲ乱ス等事故頻発シ到底満足ナル作業ヲ継続シ得ヘキ見込ナキニ至レルヲ以テ紡績ヲ始メ各工場経営者ハ今回協議ノ結果此ノ際一律ニ不良工人ノ解雇ヲ断行シ其ノ結果万一罷工ヲ惹起スル等不穩形勢アルニ至ラハ断然休業ヲ実行スル事ニ態度ヲ一決シ十二日代表者ヨリ此ノ旨本官ニ申出ツル処アリタルヲ以テ本官ハ十三日附公文ヲ以テ吳市長代理ニ対シ右工場側ノ決意ヲ転達スルト同時ニ休業ノ工人側ニ及ホス影響ノ甚大ナル所以ヲ指摘シテ事茲ニ至ラシムル事ナキ様不良分子ノ嚴重取締方ヲ最後のニ通告シ置キタリ不取敢

北平、上海、天津、南京ニ転電セリ

695 昭和4年7月19日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島在華紡六社は緊急協議を開催臨時休業と「不良分子」の解雇方決定について

青 島 7月19日前発
本 省 7月19日後着

第二三二号(極秘)

往電第二二六号ニ関シ

当方ノ最後の警告ニモ拘ラス支那側ノ取締依然トシテ徹底セス各工場殊ニ紡績会社ニ於ケル工人ノ風潮ハ益々悪化シ毎日小事故頻出ノ有様ニテ会社トシテハ最早絶対ニ隠忍シ難キ状態ニ陥リタルヲ以テ六社緊急協議ノ結果各社共来ル二十一日日曜日ヨリ(日曜日昼間ハ平常ヨリ休業スル事トナリ居リ職工入場セサルニ付其ノ機ヲ利用セムトスル次第ナリ)差向キ三日間ノ臨時休業ヲ宣シテ一斉ニ工場ヲ閉鎖シ其ノ間徹底的ニ不良分子ノ淘汰ヲ断行シ同時ニ工人等ノ反省ヲ促ス事ニ申合ヲ見タル趣船津ヨリ内報アリタリ其ノ場合工場ノ保護其ノ他対策ニ付テハ折角手配中不取敢

北平、上海、南京、天津ニ転電セリ

696 昭和4年7月21日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島在華紡六社休業開始について

青 島 7月21日前発
本 省 7月21日後着

第二三五号
往電第二三二号ニ関シ

我カ六紡績会社ハ本二十一日午前六時前夜来ノ夜勤職工退場後一斉ニ工場ヲ閉鎖シ同九時工場整理ノ為向フ三日間臨時休業スル旨ヲ布告ヲ貼り出セリ(日曜日ハ休業スルヲ例トシ午前六時職工退場後午後六時迄ハ職工入場セサル為閉鎖ハ何等ノ騷擾ヲ伴ハス至極容易ニ取行ハレタリ)右休業ノ布告貼出シト共ニ本官ハ吳市長代理及「レイ」公安局長ヲ往訪シ臨時休業ノ已ムヲ得サリ事情ヲ敷衍説明ノ上休業ニ伴ヒ起ルコトアルヘキ不良職工ノ妄動ニ対シ十分警戒ヲ厳ニシ関係邦人ノ生命財産ニ累ヲ及ホスカ如キ事ナキ様取締方要求シ置キタルカ支那側当局ハ今回六社ノ不意打ニ鮮カラス面喰ヒタルヤニ見受ケラレタリ尚同六社ハ

697 昭和4年7月22日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

職工の解雇を辞職として処理し妥協方促進について

青 島 7月22日後発
本 省 7月22日後着

第二三六号

往電第二三四号及第二三五号ニ関シ其ノ後ノ状況左ノ通

一、青島絲廠閉鎖後ノ工人動静ハ頗ル平靜ニシテ何等不穩行動無キモ市党部及工政会方面ノ逆宣伝ハ相当深刻ニ行ハレ(一)失業工人維持会ヲ組織シテ失業者ノ救済方法ヲ議シ全国ニ通電ヲ発スル一面(二)青島絲廠ハ故無ク工場ヲ閉鎖シ無辜ノ工人ヲ失職セシメタリトテ他ノ排日的記事ヲモ誇大ニ羅列シ結論トシテ(イ)会社ハ市政府ニ対シ閉鎖理由ヲ陳述スヘキ事(ロ)工人ノ失業問題未解決中ニ発生セル

事件ハ全部工場ノ責ニ帰スヘキ事(一)退職手当ハ勤続二年ニ付給料一ヶ月分ノ割ヲ以テ支給スヘキ事(二)帰郷費一人三十元ヲ給スヘキ事等ヲ列記セル長文ノ伝單ヲ作成シテ市内各所ニ撒布シ又(三)機関紙民國日報ヲ初メ各支那新聞ヲシテ無稽ノ事実ヲ掲載セシメツツアル処右ハ要スルニ職工ヲ煽動シテ事茲ニ至ラシメタル彼等ノ責任ヲ蔽ハシカ為ノ策略ナルト之ニ依リ紡績側ヲ牽制セントスル魂胆ナル事ハ之ヲ察知スルニ難カラス唯市党部及工政会ニ於テ此ノ際兎モ角紡績方面ノ解決ヲ計リ青島絲廠ヲ相手ニ最後迄争ハン意嚮ヲ洩ラシ居レル事ハ單ナル脅シ文句トモ思ハレス相當警戒ノ要アリト思惟セラレツツアリ

二、二十一日午前九時各紡績一斉ニ休業ノ布告ヲ貼り出スト同時ニ本官ハ吳市長代理及「レイ」公安局長ヲ又船津ハ市党部及ヒ社会局長ヲ往訪シテ休業ノ已ムナキ次第ヲ述ヘ不良職工ノ妄動取締ト工場ノ保護方ヲ要求セル処何レモ其ノ不意打ニ面喰ヒ極力不良分子ノ整理ヲ実行スヘキニ付休業ノ実施ヲ延期アリ度キ旨懇望スル処アリタルカ

紡績側ハ既ニ布告ヲ發布セル以上今更之ヲ變更シ難シトテ

休業ヲ断行セリ次テ二十二日午前九時ヲ期シ豫定ノ通各社一斉ニ不良工人約二百二十名誠首ヲ実行スヘキ筈ナリシモ支那側官憲ノ懇望アリタルヲ以テ之ヲ差控ヘ船津ヨリ大要左ノ希望条件ヲ提出シ其ノ回答ヲ求ムル処アリタリ

(一)不良工人約二百二十名(名簿ハ支那側ニ交付済)ハ元來規則ニ照シ解職スヘキモノナルモ今回ニ限り特ニ自発的辭職ヲ許シ手当トシテ各人ニ賃銀三ヶ月分ヲ支給ス

(二)右辭職工人中会社々宅ニ居住スルモノハ二十三日中ニ退去セシメ且開工ノ際ハ勿論今後ニ於テモ工人出勤ノ妨害並ニ会社ノ營業ヲ妨害スルカ如キ行動ヲナサル様支那側官憲ニ於テ取締ルコト

(三)開工ノ際ハ工人全部出勤シ会社ノ規則ヲ遵守シ誠実業務ニ服スル様徹底的ニ説諭スルコト

(四)工場内ニ於テハ今後工廠規則ヲ勵行スヘキニ付各工人ハ絶対ニ右規則ヲ遵奉スルコト

(五)右各項ノ保障ヲ得ルニ於テハ二十四日朝一律ニ開工スヘキコト

右紡績側ノ希望条項ニ對シテハ未タ何等ノ回答ニ接セス又各紡績工場ニハ當館ヨリ警察官二名乃至三名ヲ派シ支那側

警察及憲兵ト協力警戒ニ當リツツアリテ何等異常ナク工人ハ何レモ平靜ヲ保チ居レリ

北平、上海、南京、濟南、天津ニ転電セリ

698 昭和4年8月2日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島在華紡では一旦開始した操業を労働環境悪化のため再度工場閉鎖に至った状況について

青島 8月2日後発
本省 8月2日後着

第二四二号

往電第二三七号ニ関シ

其ノ後ノ状況左ノ通

一、七月二十四日操業ヲ開始セル六紡績其ノ後ノ作業状態ハ依然トシテ旧態ヲ改メス(一)不良工ノ善良工殴打(二)作業ノ局部的停止(三)怠業(四)会社規則ノ蹂躪等暴行ノ限リヲ尽シ鐘紡ノ如キハ遂ニ八月一日織布工場ヲ停止シ次イテ今日午前六時全工場ヲ閉鎖スルノ已ムナキニ至レリ

本官及船津ヨリ隨時支那側當局ニ警告シ之カ改善ニ努メツツアル次第ナルモ市政府及市党部ハ實際ニ於テ工人ヲ操縦シ居レル工清会側ノ行動ヲ抑圧スヘキ実力ナキモノノ如ク我方ニ對シ約束セル事項ノ一トシテ實現スルモノナキ様ノ始末ナレハ此ノ上市政府及市党部ヲ相手ニ交渉ヲ重ナルモ結局現状ヲ打開シ得サルニ付各紡績ハ来ル四日(日曜)午前六時ヲ期シテ再ヒ一斉ニ休業ヲ行ヒ今度ハ徹底的解決ヲ見ル迄断然開工セサルコトニ腹ヲ極メ目下本社ノ意向ヲ求メツツアリテ多分実行ヲ見ルニ至ルヘシ

二、青島絲廠及山東、華祥両燐寸会社ニテハ支那側ヨリ紡績ト同一ノ条件ヲ以テ解決方執拗ク申来レルモ会社側ハ飽ク迄其ノ要求ヲ退ケ全部ノ工人ヲ一応工場外ニ逐出シ其ノ中ヨリ善良工ヲ選ヒ採用スヘキ方針ヲ支持セル為其ノ間幾多ノ曲折アリタルカ結局當館調停ノ下ニ青島絲廠ハ(一)退場工人ニ對シテ帰郷汽車賃ノミナラス別ニ小使銀二元ヲ給シ且(二)退場工人中ノ解雇セラルルモノニ對シ手当トシテ二ヶ月半分ノ工賃ニ相当スル額ヲ支給スル条件

ニテ又山東及華祥兩燐寸会社ハ曩ノ青島燐寸会社（七月十日附機密第四〇三号拙信参照）ニ於ケルト同一条件ニテ解決ノ事ニ決定シ支那側ニ於テ四日午後六時迄ニ工人全部ヲ工場ヨリ退場セシムル事トナリタルヲ以テ近ク開工ニ至ル見込ナリ

支、上海、天津、濟南、南京ニ転電セリ

699 昭和4年8月6日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛（電報）

工整会側は糾察隊を組織中国側の取締りが機能しないため工場の閉鎖長期化を予想について

青 島 8月6日後発
本 省 8月6日後着

第二四九号
往電第二四五号ニ関シ

一、工場閉鎖後ノ各紡績、青島絲廠及山東、華祥兩燐寸工場ハ大体平靜ナルモ唯工整会側ニ於テ糾察隊ヲ組織シ支那人ノ工場出入ヲ一切嚴禁セントセルニ対シ支那側官憲ノ取締徹底ヲ缺キ工場封鎖ノ懸念アルニ至レルヲ以テ本

官ヨリ支那側当局ニ対シ之カ嚴重取締方警告シ置キタリ
二、四日午後青島市内ニ繰込ミタル在四方各紡績及山東、華祥兩燐寸工場ノ工人約二千名ハ往電第二四五号報告ノ通競馬場ニ頑張り徹夜スヘシト迄敦囑キ居タルカ結局支那側当局ノ説得ニ依リ午後八時過紡績工人ハ工場宿舍ニ燐寸会社工人ハ埠頭構内ノ空倉庫ニ引揚ケタリ

五日ハ左シタル催シナカリシモ糾察隊ノ活動一層深刻トナリ前述ノ如ク支那人ノ工場出入ヲ阻止スルト同時ニ工人ノ離叛ヲ防キテ極力内部ノ結束ヲ固メ居リ

又工整会ヨリ当局ニ対シ対工場関係ニ於テ（一）工場閉鎖ノ理由ヲ確カムル事（二）工人ヲ解雇セサル事（三）会社随意ニ停工セサル事（四）以上ニ対シ工人ノ満足ナル回答ヲ得サル限リ暫テ復業セサル事（五）右ハ二日以内ニ回答ヲ要スル事等ノ諸条件ヲ又対内政関係ニ於テ工整会ノ逮捕差出セル不良工（工場側ヨリ見レハ善良工ナリ）ヲ公安局限り随意ニ釈放セサル事ノ条件ヲ提出セル模様ナルカ支那側ヨリハ我方ニ対シ未タ何等ノ申出ナシ

三、青島糸廠工人ハ全部平穩裡ニ帰郷セリ

四、支那側ニテハ此ノ機会ニ於テ工整会ヨリ不良分子ヲ一

掃シ之カ改組ヲ決行セムトスル腹ナルカ如キモ工整会側ノ鼻息荒ク何等手ヲ下シ得サル実状ナルヲ以テ其ノ実現迄ニハ猶相当ノ曲折ヲ免レサルヘク而シテ右工整会ノ根本的改革ヲ見サル限り満足ナル作業ヲ期待シ得サルニ付結局今回ノ閉鎖ハ相当ノ期間ヲ要スヘキ見込ナリ

支、上海、南京、濟南、天津ヘ転電セリ

700 昭和4年8月11日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛（電報）

中国側の糾察隊取締強化のため中国中央での交渉方を芳澤公使に要望について

青 島 8月11日後発
本 省 8月11日後着

第二五五号

本官発上海宛電報第二二二号

芳澤公使へ

当地ニ於ケル我九大会社（紡績六、燐寸二、絹糸一）閉鎖後各会社所屬ノ職工ハ之カ報復手段トシテ夫々糾察隊ヲ組織シ各自棒切ヲ携ヘタル隊員十四五名各会社ノ門前及其ノ

附近ニ張番シ野菜屋、魚屋、米屋等ノ食料品配達夫ヲ始メ電報配達、人力車夫、製品搬出ノ苦力、石炭搬夫、自動車運転手ニ至ル迄一切ノ支那人ノ出入ヲ阻止シ同時ニ社内日本人ノ家庭ニ於テ使用セル支那人ニモ脅迫ノ手ヲ伸ハシ残留ヲ禁止セル為彼等ハ後難ヲ恐レテ姿ヲ隠シ今ヤ各紡績会社ノ如キ社内ニ一支那人ノ影ヲモ止メス宛然經濟封鎖ノ如キ状態ヲ実現スルニ至レリ本官ハ事態ノ重大ナルニ鑑ミ不取敢去ル七日公文及口頭ヲ以テ之カ嚴重取締方吳代理市長ニ要求シ置キタル処支那側ニ於テモ事態ノ輕視スヘカラサルヲ察シタルモノナルヘク翌八日党務指導委員会ノ名ニ於テ糾察隊解散ノ布告ヲ発シ同時ニ社会局長ヨリ嚴重取締ルヘキ旨館員ニ言明セリ右支那側ノ布告並言明ハ何等実行ヲ伴ハス糾察隊ハ其ノ後モ依然トシテ活動ヲ繼續シ現ニ今日ノ如キモ華祥燐寸会社ニ於テ製品搬出ノ為大車二十台ヲ引入レントシタルニ糾察隊員ハ苦力ヲ威嚇シテ之ヲ阻止シタルヲ始メ紡績会社方面ニモ大小四種類ノ妨害事件アリ而モ一方本邦人間ニ於ケル憤懣ノ声漸ク昂マリ来レル実情ニ顧ミ何時如何ナル不祥事ヲ惹起スルヤモ計ラレス事態甚タ憂慮セラルル次第ナル処吳思豫カ徹底的取締ヲ断行シ得サ

ル所以ハ主トシテ中央ニ直屬スル当地市党部ノ思惑ヲ顧慮セルニアルモノノ如ク現ニ公安局長及社会局長ノ如キモ屢々其ノ間ノ消息ヲ洩シ苦衷ヲ訴ヘ居ル実情ナリ事情右ノ如クナルヲ以テ当面ノ事態ニ処スル最有効且適切ナル措置ハ中央幹部ヨリ吳思豫ニ対シ徹底的ニ取締方命令セシムルニアリト思料セラルルニ付テハ此ノ際閣下ヨリ適當ノ筋ニ御交渉ノ上至急右様取計ハシムル様御配慮ヲ得ハ好都合ナリ

大臣、支、南京、濟南ニ転電セリ

701 昭和4年8月16日

在南京岡本領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島工整会糾察隊の嚴重取締措置振り並びに
蔣介石の同隊解散方電命ありたる旨周龍光申
越しについて

付記 八月二十七日付在華日本紡績同業会大阪支部

より武富(敏彦)通商局長宛書翰

宋子文財政部長が仲介との会談報告

在華日本紡績同業會

大阪支部(印)

武富通商局長殿

拝啓陳者在上海船津総務及青島支部ヨリ武居委員長宛左記
ノ通リ入電有之候間此段御通知申上候 敬具

記

八月二十六日上海発電

八月二十三日財政部長宋子文ニ面会シ青島紡績紛糾ニ関スル状況詳細陳述シ尚南京ニ赴キ胡漢民ニモ報告シタキ旨告ゲタルニ宋部長ハ単ニ其ノ為ナレバ胡氏が奔走シテモ差シテ効力ナカルベシ、且下当地ニ(ペンビョウ)療養中ノ蔣介石氏ヘハ最近ノ機会ニ於テ自分ヨリ篤ト伝言シ置クベシ、青島特別市党部連中ヲ動カスニハ他ニ適當ノ「チャンネル」ヲ通ス事必要ナリ、之ニ関シテ自分ハ仲介ノ勞ヲ取ルベシト言ヘリ、昨日八月二十五日工商部次長鄭洪年ニ会见シコレ亦青島ノ状況ヲ詳細面陳シ且ツ不良分子ノ取締ヲ要求シタル処鄭ハ青島日本紡績ガ閉鎖シタル事ハ大ニ中央政府ノ注意ヲ喚起シ既ニ吳市長ニモ嚴重電訓シタルニ付其ノ内状態ハ必ず改善セラル可シト信ズルニヨリ工場ヲ再開

第八八四号

本官発青島宛電報

第二五号

貴官発上海宛電報第二二二号ニ関シ

本件経過就中糾察隊員ノ傍若無人ナル振舞等詳細文書ニ認メ外交部及何應欽ニ本官ヨリ送付シ深甚ナル注意ヲ喚起スルト共ニ至急有効ナル手段ヲ講スル様要求シ置キタル処本十六日周龍光ヨリ本件ニ関シテハ既ニ蔡交渉員及陳調元ヨリ糾察隊員中ニハ共產黨員混入シ居ルヲ以テ適當措置ヲ要スル旨報告アリ蔣介石ハ独リ対日関係ノミナラス地方治安維持ノ点ヨリモ嚴重取締ノ必要ヲ認メ糾察隊ノ解散方電命シタルヲ以テ地方官憲ニ於テ必ス彈圧シ得ヘク從テ遠カラス形勢緩和スヘシト申越セリ

大臣、北平、上海、濟南ヘ転電セリ

(付記)

昭和四年八月二十七日

スル事ニ付キ極力御援助アリタシト言ヘリ

右御参考マデ 船津

八月二十六日青島発電

本日ノ情况ハ昨電同様 同業会

以上

702 昭和4年8月17日

在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島では日本海軍艦艇の来着もあり中国側が

問題解決を焦燥している状況について

青島 8月17日後発

本省 8月18日前着

第二五八号

本官発上海宛電報第二二二号ニ関シ
工場地帯ニ於ケル糾察隊ノ跳梁ハ依然トシテ終熄セス日々事故頻発ノ有様ナルヲ以テ本官ハ昨十六日吳市長ニ対シ重テ公文ヲ以テ大要「若シ取締徹底セス現在ノ如キ暴状ヲ継続スルニ於テハ已ムヲ得ス何等他ノ方法ニ依リ工場内居住本邦人ノ保護ヲ講スル外途ナキニ至ルヘク其ノ結果ハ更ニ

704 昭和4年9月7日

在青島藤田總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

ニ非サル事実ト相俟チ我方トシテ頗ル重大視セサルヲ得サル次第ナルニ付最近ノ機會ニ於テ貴官直接又ハ岡本領事ヲシテ国民政府外交部長及其他然ルヘキ筋ニ対シ本件ニ付嚴肅ナル注意ヲ喚起セラレ中央政府ヨリ省政府及市長ニ対シ嚴重取締方訓令セシムルト同時ニ中央党部ヨリ市党部ニ対シ不良職工ヲ煽動スルカ如キコト無キハ勿論市長等ノ不良職工取締ヲ制肘スルカ如キコト無キ様更ニ出来得レハ工整會及糾察隊ノ即時解散方嚴重訓令セシムル様交渉セラレ度尚我企業家側ニ於テハ曩ニ市長側ノ取締ニ信賴シ不良職工解僱費トシテ三箇月分ノ給料ヲ支給スルト同時ニ七月末一旦開工シタルモ何等取締ノ実効無カリシ為メ操業三日ニシテ八月初再ヒ閉鎖シ今日ニ至レル次第ナレハ今回ハ仮令市政府方面ヨリ一応ノ取締約束アリトスルモ取締ノ実効挙ルノ確信アルニ非サレハ再ヒ開工セサル決意ヲ有スル趣ナルニ付右御含置アリ度シ

訓令トシテ南京ニ転電シ北平、青島、濟南ニ転電アリタシ

憂慮スヘキ事態ノ發生ヲ保シ難ク關係極メテ重大ナルニ付為念今一応取締ノ徹底ヲ要求ス云々」申入タル処支那側ニ於テハ本項要求ヲ適々同日旅順ヨリ回航シ来レル我三駆逐艦ノ来着ト何等關係アルモノノ如ク誤解シタルモノカ頗ル事態ヲ重大視シ十六日夜緊急會議ヲ開キ対策ヲ協議シタル模様ナリシカ本十七日吳思豫本官ヲ來訪中央ヨリノ命令モアリタレハ本十七日ヨリハ更ニ私服憲兵並密偵ヲ派遣シ徹底底底ノ糾察隊ヲ取締ルヘキニ付御諒承アリタシトテ先ツ本官ノ諒解ヲ求メ同時ニ職工モ困窮シ居レルニ付此ノ際出来得ル限り速ニ工場再開方尽力アリタシト申出タリ依テ本官ハ右吳希望ノ次第ハ一応會社側ニ伝フヘキモ先決問題タル糾察隊取締ノ実ノ挙ラサル限リ會社側ノ応諾ヲ期待スルハ到底困難ナルヘシト応酬シ置ケリ

休業ノ長引クト共ニ昨今職工並支那側当局共解決ヲ焦リ来レルハ事実ナリ

支、上海、南京、濟南ニ転電セリ

703 昭和4年9月3日

幣原外務大臣より
在上海重光總領事宛(電報)

工整會糾察隊の横行に關し中央政府より省政
府および市長に嚴重取締りと出来得れば同隊
即時解散せしめる様訓令

本省 9月3日後1時20分發

第四五五号

青島ニ於ケル邦人工場ノ休業狀況ハ同地總領事累次ノ電報ニ依リ御承知ノ通ニシテ各工場閉鎖後既ニ三週間ヲ經過シ總領事及當業者不斷ノ努力ニ不拘今尚糾察隊ノ横行熄マス事態改善ノ兆ヲ見ルニ至ラサル模様ナル処今回ノ事件ニ於テハ職工側ヨリ待遇改善等ニ關スル一定ノ要求ヲ提出スルコト無クシテ直チニ怠業狀態ニ入りタル等普通ノ労働爭議ト解シ難キ節多々アルノミナラス不良分子ノ取締ニ付テハ市長又ハ省政府側ニ於テ一応ノ努力ヲ為シタル形跡無キニ非サルモ其効果一向ニ挙ラスシテ今日ニ至レル次第ニシテ斯クノ如キ事態ハ帝國政府トシテ我在支企業一般ノ保護上放任シ難キ所ナリ然ルニ市長及省政府側ノ取締カ勵行セラハ、ニ至ラサルハ畢竟工整會一派カ市党部方面ノ尻押ヲ受ケ居リ市長又ハ省政府側トシテ市党部ヲ奈何トモ為シ得サルニ依ルモノト認メラレ右ハ今回ノ怠業カ單ナル労働爭議

青島在華紡側態度強硬かつ職工側の疲弊もあ
り九月中旬には問題解決との觀察について

青島 9月7日後發
本省 9月7日後着

第二七一号

当地六紡績青島絲廠及山東華祥兩隣寸会社閉鎖ノ事情並ニ其ノ後ノ狀況ニ附テハ累次電報ノ通ナル処元来今次ノ事件ハ純然タル労働爭議ニ非スシテ不良分子カ工會乃至工整會ノ牛耳ヲ握リ工人ヲ脅迫シテ工會加入ヲ強制スル一方会社側ニ工會ノ承認ヲ迫リ其ノ目的達成ノ為不良工人ヲ使喚シテ怠業ヲ実行セシメ或ハ会社側ニ忠実ナル善良工人ニ対シテ迫害ヲ加フル等種々ノ妨害手段ニ出テ遂ニ作業ノ続行ヲ困難ナラシムルニ至リタルモノナリ会社側ニ於テハ右事態ニ処シ(一)工人ヲ代表スル交渉機關トシテ工會乃至工整會ヲ承認スルノ不得策ナル事及(二)若シ今後事件解決ニ徹底ヲ缺キ其ノ間工會及工整會ニ策動ノ餘地ヲ残ス時ハ将来甚タシキ不利ニ陥ルヘキ事等ノ点ヲ慎重ニ考慮ノ結果此ノ際相當ノ犠牲ヲ払フトモ持久的閉鎖ヲ断行シ各工人ノ自覺ヲ促ス一面工人ヲ煽動シテ事茲ニ至ラシメタル不良分子ヲ完全ニ

一掃シ更ニ出来得レハ工会及工整会ノ解散ヲモ期スル事ニ方針ヲ決定シ断然之ヲ実行セル次第ナルカ工会側ハ右会社側ノ閉鎖断行ニ鮮カラス面喰ヒ之カ対策トシテ糾察隊ヲ組織シ或ハ支那人ノ工場出入ヲ禁止シ或ハ工場内ニ残レル使用支那人ヲ脅迫スル等恰モ工場封鎖ニ類似セル行動ニ出テ会社側ヲ窮境ニ陥ラシメムト試ムルニ至レリ

爾来今日迄閉鎖ヲ続行スル事約一ヶ月其ノ間会社側ハ当館ヲ通シテ支那側官憲ニ糾察隊ノ解散ト不良分子ノ取締ヲ要求スルニ止マリ何等開工ヲ急ク色ナキニ反シ工会並ニ工整会側ハ大イニ其ノ歩調ヲ乱シ来レリ即チ

(一)青島絲廠ハ内地及關東州ノ各工場ニ充分製造ノ餘力ヲ有シ已ムヲ得サル場合ハ当地ヨリ右各工場ニ原料ヲ送付スル手筈成リ居レルヲ以テ閉鎖長期ニ亘ルモ差支ナク現ニ鈴木絲廠長ハ其ノ期待セル目的ノ達成スル迄ハ断然開工セサル決心ヲ有シ居レリ

(二)山東、華洋兩燐寸会社ハ目下多量ノ在庫品ヲ有シ此ノ上製造シテ品物ヲ固定セシムルヨリモ寧ロ閉鎖ヲ行ヒテ在庫品ノ処分ヲ行フ方有利ノ状態ニ在ルヲ以テ今後二三ヶ月休業スルモ左シタル苦痛ナシ

会社ニ開工ヲ願出ルモノアル様ノ状況ナルヲ以テ今一息ノ処ナルヘク紡績ヲ始メ各休業会社ハ何レモ本月十七日ノ仲秋節(当地方ノ商慣習トシテ前半年分ノ貸借ヲ当日決済スル事トナリ居レルヲ以テ各工人ノ窮乏ハ其ノ極ニ達スヘキ見込ナリ)前後ヲ解決ニ適當ナル時期ナラスヤト觀察シ居レリ右御参考迄

北平、上海、南京、濟南、天津ニ転電セリ

705 昭和4年9月7日 在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)

王外交部長に青島罷業の実状に關し注意喚起
および重光総領事覚書を周龍光に手交したこ
とについて

付記 九月六日付在上海重光総領事より幣原外務大

臣宛機密第一〇一一号公信

青島在華紡スツ問題に關する重光総領事覚書

南京 9月7日發

本省 9月8日着

(三)紡績ハ其ノ上海ニ於ケル苦キ經驗ニ鑑ミ此ノ際不徹底ナ

ル解決ヲ為シ工会ノ勢力ヲ存置スル時ハ必スヤ事件解決

ノ直後ニ繰業時間ノ短縮、工賃ノ値上等待遇改善ノ正式

要求ヲ提出シ又復面倒ナル事態ヲ惹起スルニ至ルヘキ事

明カナルヲ以テ此ノ機会ニ徹底的解決ヲ期シ不良分子ノ

一掃ハ勿論工会ノ地位ヲ少クトモ上海同様有名無実ノモ

ト為ス計画ノ下ニ六社完全ニ協調シ腰ヲ据エ居レリ

右ノ如ク各社ノ結束ハ頗ル固ク所期ノ目的ヲ貫徹セサル限

リ何程長期ノ休業ヲモ辞セサル態度ヲ示セルニ反シ工会側

ハ早くモ腰挫ケ今日迄甘言ヲ以テ釣リ来レル工会側ニ苦情

ヲ訴フルニ至レル為工会ハ頗ル窮境ニ陥リ日々市政府及市

党部ニ開工交渉方ヲ歎願シツツアル実状ナリ

当館ニ於テハ休業ニ依ル工場側ノ損失ヲモ顧念シ不良分子

ノ一掃及工会勢力撲滅ノ目的ヲ達スル範圍ニ於テ最近ノ機

会ヲ捕ヘ解決ヲ計リ度所存ナルカ不良分子及工会ニ対スル

支那側官憲ノ取締ハ兎角徹底ヲ缺キ如何ニ督励スルモ所期

ノ効果ヲ望ミ得サルニ付結局ハ各工人ノ生活ニ窮シ相結束

シテ工会ニ対抗スル時期ヲ待ツノ外ナカルヘク又其ノ時期

ニ付テハ勿論豫斷ヲ許ササルモ目下既ニ各工人疲弊シ直接

青島宛拙電第三三三号及上海発本官宛第一〇六〇号ニ関シ

王部長ハ急ニ六日夜行ニテ赴滬セルニ依リ七日朝来寧セル

船津ヲシテ周龍光ニ面会セシメ青島ニ於ケル実状ヲ詳細説

明セシメ次テ本官周ヲ往訪政府ノ訓令ニ依リ特ニ外交部長

ノ注意ヲ喚起スル次第ナリト前置シ閣下発上海宛電報第四

五五号ノ趣旨ヲ敷衍説明ノ上本件ニ就テハ上海ニ於テ重光

総領事ヨリモ直接王部長ニ申入レタル筈ナルカ茲ニ為念上

海ヨリ送付シ越シタル王部長宛重光参事官覚書ヲモ手交シ

置クヘキニ付王部長帰寧ノ上ハ本官口頭ノ説明ト共ニ右覚

書ヲモ伝達セラレ度ク尚右覚書ハ貴司長ニ於テモ充分熟読

ノ上速ニ国民政府及中央党部ト協議セラレ省及市政府並ニ

市党部ニ対シ命令ヲ発シ工整会一派ヲ徹底的ニ取締ル様措

置アリタキ旨附言シ更ニ青島発本官宛第一三三号最近ニ於ケ

ル不穩行為ノ事実ヲモ然ルヘク文書ニ認メ説明ノ補足トシ

テ手交シ置キタリ周ハ右ニ対シ青島ノ実状並ニ日本政府ノ

意ノアル処ハ充分諒解シタルニ依リ自分ニ於テモ速ニ解決

方極力尽力スヘキ旨述ヘタルカ午後ニ至リ周ハ上海ニ在ル

王部長ト電話ニテ打合シタルカ貴方ノ話ニ依リ市政府ト党

部トノ關係円滑ナラサル為本件解決モ思ハシカラサル様思

考セラルルニ依リ国民政府ヨリ特ニ人ヲ青島ニ派スル様王部長ヨリ蔣主席ニ進言スル様話合ヲ遂ケタリ又吳市長及崔交渉員ニ対シテハ別ニ取締方一層努力スル様電報スル事トナレル旨電話ニテ通知シ来レリ

尚党部方面ノ要人ニ対シテハ船津ヲシテ歴訪実状ヲ説明セシメツツアル処船津ハ昨六日夜離滬前上海ニ於テ宋子文ト面会ノ折青島ニ於ケル最近ノ実状ヲ述ヘタルニ宋ハ蔣介石ニ於テモ青島ヨリノ報告区々ニシテ実状ヲ判断シ難シトテ政府及党部ニ対シテモ全然知ラシメス極秘裡ニ張嘯山ナル者ヲ青島ニ派遣シ密ニ同地ノ実状ヲ調査報告スル様命シタル旨内話セル趣ナリ

他方中央党部ヨリモ同地実状調査ノ為訓練部幹事黃俊昌ヲ青島ニ派遣シタル趣ナリ
北平、上海、青島ニ転電セリ

(付記)

機密第一〇一一号

(9月13日接受)

昭和四年九月六日

ルノミナラス会社ノ規則ヲ蹂躪シ怠業ヲ肯セサル職工ヲ毆打スル等暴行ノ限リヲ尽シタル為、工場ハ八月四日遂ニ再ヒ作業ヲ停止スルノ餘儀ナキニ至リ、爾来本問題ハ会社側ノ努力ニ拘ラス解決スルトコロナクシテ今日ニ及ヒタリ。

二、右ノ如ク職工側ニ於テハ何等待遇問題等ニ関スル希望ヲ提出スルコトナク工場ノ開工スルヤ直ニ不穩ノ行動ニ出テテ怠業状態ニ入りタルモノニシテ、今回ノ爭議ハ普通ノ労働爭議ト異リ煽動ニ依ル不良分子ノ過激的行動ノ結果ト見ルノ外ナシ。加之其ノ後工整会ノ横暴ハ日ニ甚シク、不良職工等ノ組織スル糾察隊ハ遂ニ工場内邦人ノ食糧品搬入ニ対シテスラ妨害ヲ加フルニ至ル等事態容易ナラサルモノアリ。而シテ之ニ対スル支那官憲側ノ取締ハ一向ニ徹底スルトコロナキ現状ナリ。

三、今次工場ノ休止既ニ一ヶ月餘ニモ及ヒ其ノ結果カ二万ニ達スル善良職工並其ノ家族合セテ五万余人ノ生活ニ影響スルトコロ大ナルヘキニ顧ミ、工場経営者側ハ努メテ慎重ノ態度ヲ持シ万事隱忍ヲ旨トシ出来得ル限り速ニ穩便ナル解決ヲ為サントスルノ意向ニシテ、右ハ曩ニ一旦

在上海

總領事 重光 葵〔印〕

外務大臣男爵 幣原 喜重郎殿

青島ニ於ケル罷業問題

本官発南京宛電報第一〇六〇号ニ関シ当方覚書写一部別紙ノ通り送付ス御査収相成度シ

本信写送付先 青島 濟南 北京 南京

覚書

一、青島ニ於ケル日本人経営ノ紡績其ノ他ノ工場ハ不良職工ノ横暴最近ニ至リ殊ニ甚シク作業ノ継続不可能ノ状態トナリタル為七月二十一日閉鎖スルノ已ムナキニ至リタルカ、其ノ後支那官憲ノ斡旋アリ且工人側ニ於テモ今後会社ノ規則ヲ遵守シ真面目ニ作業ニ従事スヘキコトヲ誓ヒタルニ依リ会社側ハ特ニ寛大ナル態度ヲ以テ自発的ニ退職セル工人ニ対シテハ三ヶ月分ノ給料ヲ支給スル等ノ措置ニ出テ七月二十四日ヲ以テ再ヒ開工セリ。然ルニ、開工後ノ作業状態ハ豫期ニ反シ依然トシテ何等改善スルトコロナク、不良工人ハ善良職工ヲ煽動シテ怠業ヲ強フ

職工側ノ言ニ信賴シ其ノ希望通り開工シタル事実ニ見ルモ明ナリ。然ルニ、之ニモ拘ラス職工側ノ態度甚タ理非ヲ没シタルモノアルノミナラス官憲ノ取締亦徹底セサル現状ニ於テハ工場経営者ニ於テ到底安シテ開工ヲ断行シ難キ次第ナリ。

四、事情前記ノ通ニシテ、此際至急事態ヲ改善シ工場ノ作業ヲ復活シ以テ善良職工ノ苦痛ヲ除去スルコト急務ト感セラルルニ付、此際中央政府ニ於テ省政府並市庁ニ対シ不良職工ニ対スル嚴重取締方ヲ訓令セラレ且ツ工整会又ハ糾察隊等公安ニ反スル不良分子ノ団体ノ解散ヲナサシムル様併セテ訓令アランコトヲ希望スルト共ニ更ニ中央党部ヨリ市党部ニ対シ事態ノ急速改善ニ関シ適切ノ措置ヲトル様斡旋アランコトヲ望ム。

昭和四年九月六日

706

昭和4年9月28日

在青島藤田總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

工整会活動は終息状態に入りつつも事故頻発
在華紡側では自警団の組織を考慮中について

第二九二号

青 島 9月28日後発
本 省 9月28日後着

紡績地帯ニ於ケル不良分子ノ活動ハ最近数日間漸ク終熄状態ニ入り各社共此ノ向ニテハ開工ノ可能性無キニシモ非スト幾分前途樂觀ノ折柄二十七日滄口所在鐘紡、富士紡、長崎紡ノ三社ニ於テ又復彼等一味ノ蠢動ニ依ル事故発生セリ彼等妄動ノ重ナルモノハ

一、会社カ工事ノ為備入レ居レル苦力、大工等ノ入場ヲ阻止ス

二、目下会社ニ出勤中ナル支那人守衛及事務員等ヲ強迫手段ヲ以テ工整会本部ニ連行シ散々殴打スル

等ニシテ其ノ件数ハ九件ニ及ヘリ本官ハ右会社側ノ報告ニ接スルヤ直ニ吳市長ヲ往訪嚴重取締方要求スルト共ニ最終的威嚇手段トシテ若シ支那側ニ於テ取締ノ手廻リ兼ヌル為右ノ如キ事件ノ発生ヲ見ル次第ナラハ今後現行犯ハ紡績側ノ自衛手段ニテ取押ヘ支那側ニ引渡ス方法ヲ執ルヨリ外致方無カルヘシト警告旁提議セルニ吳市長ハ熟考ノ後今一応工整会ニ警告ヲ与ヘタル後尚事故ノ発生ヲ見ルカ如キ場合

外国紙幣タル正金銀行券ヲ驅逐シ中央銀行紙幣ノ流通ヲ計ラントスル魂胆ニ出テタルモノノ如シ右ニ関シ正金支店長カ三十日中央銀行当局ニ就キ質問シタル処ニ依レハ從來正金カ支那銀行券ヲ受入サルヲ以テ相互的ニ支那側ニ於テモ正金銀行券ヲ取扱ハサルコトト為シタル旨答ヘタルニ付然ラハ中央銀行券ヲ受入ルルニ於テハ正金銀行券ヲ受入ルルヤト突込タル処元来正金銀行券ハ南京政府ニ「レジスタ」セラレ居ラサルヲ以テ矢張之ヲ受入ルル能ハスト逃ケタル趣ナリ目下当地正金ニテハ中央銀行券受入ノ可否其ノ他ニ関シ上海支店ニ問合中ニシテ其ノ結果ヲ待テ当館トモ協議ノ上改メテ適當ノ措置ヲ執ル筈ナリ尚当地方流通ノ正金銀行券ハ沿線一帯ヲ含ミ約三百萬元見当ニシテ支那銀行券ハ中国、交通兩銀行各百萬元程度ナリ

右天津、濟南、上海、南京、漢口ヘ転電セリ

708 昭和4年10月8日

在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島における横浜正金銀行兌換券受入拒否問題に対し重光総領事より王外交部長等に解決

ハ右ノ如キ方法ヲ執ルモ差支無シト弁明セリ本官ハ今直ニ右ノ如キ方法ヲ執ラントスル意嚮ニハ非サルモ今後尚彼等不良団ノ活動終熄セス事態好転ノ兆見エサルニ於テハ充分注意ノ上紡績側自警団ニ依ル現行犯取押ヲ実行シ之ヲ支那側ニ引渡スモ一策ナラスヤト考慮シツツアリ御含迄
公使、南京、上海、濟南ニ転電セリ

707 昭和4年9月30日

在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

中国中央銀行券を流通させるため青島の中国側銀行が横浜正金銀行券の受入拒否について

青 島 9月30日後発
本 省 9月30日後着

第二九三号

当地支那側銀行九月二十八日より突如当地横浜正金銀行発行銀行券ノ受入ヲ取已メタルカ右ハ一週間前新ニ当地ニ開設セラレタル支那中央銀行(Central Bank of China)支店関係者カ当地市党部ト策謀シ支那側銀行業者ヲ慫慂シタル結果ナルヤノ聞込アリ其ノ主ナル目的ハ当地唯一ノ流通

方申入れについて

南 京 10月8日後発
本 省 10月8日後着

第一〇一六号

本官発青島電報第四九号

青島正金ノ問題ニ関シテハ七日重光ヨリ崔士傑ニ対シ説明シ党部ノ取締斡旋方崔ヨリ外交部長其ノ他必要ノ向ニ申入ラレタキ旨述ヘ其ノ承諾ヲ得置キタルカ同夜宴会ノ席後重光ヨリ王部長ニ対シ正金ト中国銀行トノ伝統的關係ヲ説明シ速ニ党部ヲ説得シ妄動ヲ鎮静シテ円満ナル解決ヲ為スヲ要スル旨述ヘタルニ王ハ自分ハ其ノ事情ヲ充分承知シ主席ニモ報告シテ解決ニ尽力中ナリ尤モ外国銀行カ紙幣ヲ勝手ニ発行スルノ權利ハナキ訳ナルカ自分ハ今日理窟ヲ言ハス實際的ニ一応元ニ引戻シ理窟ハ別ニスル考ナルニ付安心アリタシト述ヘ居タリ

大臣、支、上海、奉天ヘ転電セリ

709 昭和4年10月8日

在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島工人救恤のため市政府四万元支出の返済
を日本側が負担すれば解決するとの崔交渉員
の内話について佐分利公使報告

南京 10月8日後発
本省 10月8日後着

第一〇三九号

佐分利公使ヨリ

七日外交部長往訪ノ際部長ト面会前居合セタル崔山東交渉員ハ青島ノ問題ニ言及シ自分ハ本件ニ付王部長ニ対シ詳細事情ヲ説明シ更ニ其ノ命ニ依リ蔣主席ニ対シテモ言ヒ過キル程充分意見ヲ述ヘ置キタリト語り居タルカ本使ハ王部長ニ対シテモ更ニ本件解決ニ対シ充分尽力アリタキ旨ヲ述ヘタルニ部長ハ既ニ蔣主席ニモ委細話シ解決ヲ急キ居ル次第ニシテ本件ノ故障ハ調査ノ結果青島ニアルモ大シタモノニ非サル模様ナリト答ヘタリ

尚崔ハ上村ニ対シ閉工中ノ賃銀ヲ会社ヨリ支払フコトハ種々ノ関係ヨリ会社トシテモ困難ナル事情アルハ自分モ承知シ居ル処閉工中工人救恤ノ為市政府ヨリ支出セル金額四万元ニ達シ之カ返済ニ困リ居ルニ付日本側ヨリ密ニ四万元

着手セサルヘカラサル状況ナリ是等ノ仕事ヲ両国ノ為ニ成功セシムルニハ一層空気が良好ナラシムル事ニ努力スル事必要ナリ然ルニ一ツ遺憾ナルハ山東ニ於ケル状態ニテ先ツ第一ニ同地ニ於ケル紡績工場等ノ閉鎖ニ関スル件次ニハ正金ノ兌換券問題及貨物税ノ問題等ナリ

要スルニ同方面ノ日支人ノ感情ノ疎隔甚シク現ニ支那新聞ハ日本側ヲ攻撃シ日本新聞ハ之ニ応スルノ已ムナキニ至レル状態ナリトノ事ニテ此ノ状況永続セハ一地方問題トシテ放置シ難ク一般的ニ影響スル所大ナルニ付先ツ第一ニ工場閉鎖ノ問題ニ付党部方面ニ出来ル丈ケ尽力セラレ速ニ解決スル様ニスル事ヲ要スト思考スト述ヘタルニ宋ハ全然同感ナリ現ニ佐分利公使カ日支関係ヲ益々良好ナラシメンカ為ニ来京シタリトノ事ヲ聞キ居ル次第ニテ猶更両国間ノ空気が良好ナラシムル時期ナリト思考シ居ルニ付工場ノ問題ハ直接自分ニ関係アル事ナラサルカ出来ル丈ケ職権ヲ離レ尽力スヘシ尚本件ニ付テハ蔣主席モ詳細報告ヲ受ケ居ル旨答ヘタリ

大臣、支、上海、奉天へ転電セリ

乃至五万元位ヲ市政府側ニ交付スルコトトセハ解決容易トナルヘシト内話セル趣ナリ

支、上海、長沙、奉天へ転電セリ

710 昭和4年10月(11)日 在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島在華紡スト問題および青島における横浜
正金銀行兌換券受入拒否問題等に関する重
光・宋子文会見について佐分利公使報告

南京 発
本省 10月11日前着

第一〇五〇号

本官発青島宛電報

第五二号

往電第五一号ニ関シ

佐分利公使ヨリ

九日重光宋子文ト会見重光ヨリ「日支ノ感情最近益々融和スル方向ニ向キツアルハ祝スヘキ事ニテ条約問題ハ暫ク別トスルモ其ノ他種々ノ問題ニテ吾人ハ日支共通ノ仕事ニ

711 昭和4年10月(11)日 在南京上村領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島における横浜正金銀行兌換券受入拒否問題
は急速解決方困難なる旨の宋子文談話について

付記 昭和四年十月八日付通商局第二課

「青島支那銀行ノ正金券受入拒否ノ正金ニ及
ホス影響」

南京 発
本省 10月11日前着

第一〇五一号

本官発青島宛電報第五三号

上海発青島宛電報第二九号ニ関シ
九日重光総領事宋子文ト会見ノ際紡績問題ニ引続テ正金兌換券受入問題ニ言及シ宋ノ尽力ヲ求メタル処宋ハ自分モ右問題ハ充分承知シ居リ甚タ不幸ナル問題ナリトテ正金橋爪カ中国銀行ニ対スル援助ヲ説明シスル関係ニアル銀行力青島ニ於テ問題ヲ起セルハ遺憾ナリ然レ共煽動者ノ手ニ移リスノ如ク問題紛糾セル以上速急解決ハ困難ナルヲ以テ速ニ適當ノ人ヲ派シ徐ニ事件ヲ收拾スル様処置スル積リナリト

答ヘタリ

大臣、支、上海、奉天へ転電セリ

(付記)

青島支那銀行ノ正金券受入拒否ノ正金ニ及ホス影響

(昭四、一〇、八)

本日菅課長ヲ來訪セル有馬正金東洋課長ノ談ヲ綜合スルニ左ノ通

青島正金ハ同地兌換ノ銀行券約三百万弗ヲ発行シ更ニ支那銀行ノ預金約七百万弗(所謂預金貨幣トナル)ヲ有セルヲ以テ青島ニ於テ約一千万弗ノ通貨ヲ流通セシメ居レル次第ナルカ他ノ發券銀行タル中国銀行カ八十万弗交通銀行カ一百万弗ヲ發行セルニ止リ勢力微弱ニシテ(中央銀行發券高ハ不明ナルモ大シタモノニアラス)且右ノ結果之等支那銀行ハ勿論其ノ他一般支那銀行カ正金ニ無利息ヲ以テ預金ヲ置キ右預金口座ニ依リ之等各銀行ノ取引決済ヲ行フ等正金ヲ以テ宛然其ノ親銀行トナシ居リ又正金ハ右ノ優越的地位ヨリシテ各地向標準為替相場ヲ發表シ同地為替界ヲ「リード」シ延イテ市場ヲ支配シ金利ヲ操縦スル等事ニ於テ青

備五十%

二、支那銀行無利息預金ノ喪失(現在預金額七百万弗)

三、標準為替相場決定權ノ喪失

四、金利操縦權ノ喪失(本件ハ正金ニ代リテ生スヘキ支那親銀行(元來支那側ハ高利ナリ)ノ政策ニ追隨スルコト

トナリ邦人ハ往々頗ル不利ナル地位ニ立ツヘシ)

五、「マーケット」支配權ノ喪失(本件ハ邦人ノ經濟勢力ノ消長ニ至大ノ關係アリ)

(欄外記入)

尚正金ハ三百万弗ノ兌換券ニ対シ約七百五十万弗ノ現銀準備ヲ有シ居ル趣ナリ

712 昭和4年10月11日

在青島藤田總領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島在華紡スト問題につき「不良職工」整理
を先決問題として商議を進める方針について

青島 10月11日後発
本省 10月12日前着

島金融界ヲ統制シ經濟界ノ実權ヲ掌握シ居レルニ付若シ支那銀行及一般通貨收受者カ正金券ノ受入ヲ拒否スルトキハ以上ノ優越的地位ヲ喪失スルコトナルヘシ殊ニ正金トシテハ青島支店ハ大連支店ニ次ク發券高ヲ有シ地方金融界ニ於テハ大連以外ノ各地ニ比シ頗ル優越的地位ヲ占メ居レルカ故ニ本問題ノ帰趨ニ付テハ周到ナル注意ヲ加フルト共ニ之カ対策ニ腐心シ居レル次第ナリ

目下ノ対策トシテ此際支那銀行券ノ受入ヲナスハ必シモ有利ナラサルモ元來支那銀行券ノ經濟界ニ於ケル信用ハ頗ル薄弱ナル次第ナレハ苟モ正金券ノ流通ヲ見ル限リ將來必ス支那銀行券ヲ凌駕シ延イテ從來ノ優越地位ヲ獲得シ得ヘシト信ス乍併支那側ハ單ニ銀行方面ノミナラス官庁殊ニ山東經濟界ノ樞軸タル膠濟鐵道迄正金券受入停止ノ形勢アリ膠濟鐵道ノ受入拒否ハ正金トシテハ大打撃ヲ被ル次第ナルニ付何トカシテ之ヲ阻止シ度シ(其ノ後有馬ヨリ正金トシテハ此際事ヲ荒立テス事態緩和ヲ期スヘキ様青島へ命令セリト電話アリタリ)尚重複ノ嫌アルモ正金券受入拒否ノ正金ニ及ホス損害ヲ列挙スレハ左ノ如シ

一、發行利益ノ喪失(發行額ニ対シ現銀準備五十%証券準

第三〇三号

往電第二九二号ニ関シ閉鎖工場其後ノ状況左ノ通

一、客月二十七日鐘紡、富士紡、長崎紡三社ニ対スル不良分子ノ妨碍(往電第二九二号参照)以來各社トモ格別ノ事故ナキモ工会乃至工整会ヲ中心トスル不良分子ノ活動ハ依然旧態ヲ脱スルニ至ラス現ニ工整会ハ最近紡績側ニ於テ一部ノ工人ヲ召集勤務セシムヘシトノ風評ヲ耳ニスルヤ七日急遽各工会代表者ヲ召集シテ(一)工整会ノ威信失墜ハ国民政府ノ名譽ニ関スルモノナルカ故ニ各工会益々結束ヲ固メ内部ノ充実ヲ計ルト共ニ外部ニ対抗スヘキコト(二)各紡績ハ数日中ニ一部工人ヲ召集就業セシメムト計畫シ居レルヲ以テ工整会ハ各工会ヲ督励シ其ノ出勤ヲ阻止スヘキコト(三)工整会ノ命令ニ從ハス出勤スルモノハ反動分子トシテ之ヲ逮捕シ公安局ニ移送嚴重処分ヲ要求スヘキコト等決議セルヤノ聞込モアリテ未タ危険状態ヲ脱シ了エス

二、工人ハ久シキニ亘ル休業ト漸次寒サニ向ヘル為益々衣食ニ窮シ直接会社ニ対シ開工ヲ哀願スル向鮮カラサルノミナラス工会側ニ対スル彼等ノ反感日ヲ逐テ濃厚ヲ加ヘ

ツツアルヲ以テ市政府及市党部側ニ於テハ大ニ焦慮シ当館及紡績同業会側ニ開工斡旋方ヲ依頼シ来リツツアルモ当方トシテハ船津ト打合セタル既定ノ方針ニ基キ不良分子ノ整理ヲ先決問題トシ次テ青島絲廠及燐寸会社ノ開工ヲ議スヘキ方針ヲ以テ進ミツツアリ

三、青島絲廠及山東華祥兩燐寸会社ノ開工ニ関シテハ往電第二八九号ノ我方提案八箇条ニ対シ市政府側ニ於テ(一)第一条開工前ノ不良工解雇ヲ肯セス且(二)第三条ノ休業期間中ニ於ケル工賃問題ニ関シ市政府側ヨリ工人救恤ノ為既ニ四万数千元(紡績ヲ含ム)ヲ支出セルコト及開工ニ際シ工人ニ相当ノ小遣ヲ支給スルノ必要アルコト等ヲ口実ニ名目ノ如何ヲ問ハス一人当リ一日二十銭ノ割ヲ以テ支出方申出テ来レル処(其ノ他ノ条件ニハ大体異議ナシ)我方ハ会社側ノ希望モアリ右申出テヲ拒絶シ原案ヲ固執シ居レリ

右支那側申出ノ二点中(一)ニ付テハ最初休業ノ際市党部ヨリ各工人ニ対シ全職工ノ復帰ヲ保障シテ工場ヲ立退カシメタル経緯アルヲ以テ我方ノ要求タル開工前ノ解雇ヲ承認スルコト困難ノ事情アリ従テ我方ニテ原案ヲ固執スルトキハ此

ハ一二週間内ニ右手続ヲ完了シ税関正金間ノ規約条項ニ従ヒテ一個月ノ期間ヲ置キ解約ヲ通告スル筈ニ付十二月中旬頃ヨリ実行ヲ見ルニ至ルヘントノ事ナリ

右取扱銀行ノ変更ハ正金ト同時ニ中国銀行ヲモ廃止スルモノナルカ故ニ排日の理由ヲ含ムモノトハ認め得サルノミナラス規約条項ニ基キテ正式ニ解約ヲ通告シ来ル以上文句ノ附ケ処無キヲ以テ結局ハ成行ニ放任スルノ外無カルヘク又正金従来ノ受入高ハ毎日二万元見当ニシテ一週間毎ニ取纏メ「レート」ノ廉キ銀行ヲ經テ上海ニ送金シ居レル様ノ実情ナルニ付正金トシテハ取扱廃止ニ依リ左シタル苦痛無キ次第ナルモ交渉ハ爾後機関ニ於テ正金票ヲ收受セサル關係モアリ旁相当ノ不便ヲ見ルニ至ルヘク思惟セラル右不取敢公使、上海、天津、濟南、南京へ転電セリ

714 昭和4年10月26日

在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

市政府への支出金額、職工解雇をめぐる呉
思豫市長代理と意見対立について

別電一 十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外

ノ点ニ於テ解決不可能ニ陥ルナキヲ保シ難キニ付今少シ經過ヲ見次第二依リテハ(イ)開工後短期間内ニ不良工ノ解雇ヲ行ヒ且其ノ工場追出シニ付当局ノ保障ヲ取付ケ(ロ)適宜ノ名義ニテ三社合計三千元乃至四千元ノ支出ヲ為ス程度ニ折合ヒ可成速ニ解決ヲ計ル積リナリ

支、上海、南京、濟南へ転電セリ

713 昭和4年10月25日

在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

税関収入取扱銀行を中国銀行・横浜正金銀行より中央銀行へ変更について

青島 10月25日後発
本省 10月25日後着

第三一六号

当地税関カ二十四日正金銀行支店長ニ内話セル所ニ依レハ同税関ノ収入ハ従来正金及中国ノ兩銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシメ居タル処今回在上海「チーフ、インスペクター」ヨリ右取扱ヲ中央銀行ニ変更スヘキ旨ノ指令ニ接シタルヲ以テ目下中央銀行トノ間ニ「アグリーメント」作製中ナリ就テ

務大臣宛第三一八号

青島日本総領事館側の最終解決案

二 十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外

務大臣宛第三一九号

青島在華紡側の最終回答案

青島 10月26日後発

本省 10月26日後着

第三一七号

往電第三〇九号ニ関シ

二十二日本官吳市長ト会見工場問題ニ関シ約二時間ニ亘リ折衝ヲ重ネタルモ吳ハ金額其ノ他ノ点ニ関シテハ出来得ル限り我方ノ希望ニ副フヘク努力スヘキモ不良工開工前誠首ノ一点ハ対内的關係上絶対ニ承認シ難キ立場ニアリト陳弁シ容易ニ承諾ノ色見エス依テ本官ハ単ニ此ノ点ノミニテ解決ヲ遷延セシムルハ却テ得策ナラサルヤニモ思料シタルヲ以テ已ムヲ得サル場合ハ支払金額其ノ他ノ点ニ於テ償ヒヲ付ケ開工前誠首ノ点ハ譲歩スルヨリ外方策ナキヤモ知レストノ見地ヨリ先ツ別電(一)ノ如キ当館解決案ヲ六紡績会社青島絲廠及二燐寸会社ニ内示シ之ニ対スル諾否ノ回答ヲ求メ

タル処紡績側ハ別電(二)ノ如キ对案ヲ寄セ来リ依然トシテ開工前誠首ノ一点ヲ捨テス又他ノ三会社ハ原則トシテ大勢ニ順応スヘキモ兩三日来更ニ活氣ヲ呈シ来レルヤニ見受ケラルル反工整會機運ノ成行ヲ見極メタキニ付今暫ク商議ノ進行ヲ差控ヘラレタシトノ申出アリ共ニ尚時局ノ動キ等ニ基ク局面ノ好転ニ一縷ノ望ヲ繫キ譲歩ヲ肯セサル現状ニアリ本件今日迄ノ成行ハ佐分利公使ニモ詳細報告ノ上特ニ時間ヲ割キ直接吳市長ト御懇談ヲ煩ハシタル次第ナルカ其ノ結果吳市長ハ同公使ニ対シ支那側ニ於テモ出来得ル限り譲歩スヘキニ付日本側ニ於テモ条件ヲ緩和シ速ニ開工ヲ見ル様取運ヒタシト申出テタル趣ナリ就テハ本官ハ右申出テノ内容探查旁二十八日更ニ吳市長ト會見支那側ノ最後ノ腹ヲ突止メタキ所存ナリ

公使、上海、南京、濟南ヘ転電セリ

(別電一)

青 島 10月26日後発

本 省 10月26日後着

第三一八号

青島絲廠、工人一人ニ付銀三元

燐寸工場、工人一人ニ付銀二元

三、曩ニ提出セル条件八ヶ条ノ中第四項以下ノ各項ニ付テハ市政府之ヲ承諾ス

四、本解決条件ハ当事者間ノ内約トシ一切公開セス

(別電二)

青 島 10月26日後発

本 省 10月26日後着

第三一九号

日本紗廠側ハ不良工一千名内外ヲ解雇スルニ非サレハ到底開工操業不可能ナリト信スルモ若シ社会局及市党部ニ於テ面目上之ヲ承認スルコト困難ナル事情アラハ紗廠側ニ於テハ多数善工友失業ノ痛苦ヲ顧慮シ左ノ程度迄譲歩スヘシ

一、解雇人員ヲ六百名内外ニ減スルコト

二、開工前ニ二百名内外ノ工人ヲ自発的辭職セシムルコト

但シ一人ニ付手当二十元ヲ支給ス尚残リ四百名内外ノ不良工ハ開工後二ヶ月以内ニ順次整理スルコトヲ社会局及市党部ニ於テ充分ナル諒解及保障ヲ与ヘラレタキコト

当館ノ最後の解決案

一、別表所載ノ不良工人ハ元來開工前一律ニ解雇スヘキモノナルモ市政府ニ於テ左記各項ヲ保障セラルルニ於テハ特ニ使用ヲ承諾ス

(イ)市長ヨリ不良工人ヲ嚴重戒飭ノ上左ノ要項ヲ具備スル誓約書ヲ各工人ヨリ徴スルコト

(a)開工後ハ会社規則ニ從ヒテ誠実業務ニ服シ他ノ工人ヲ煽動シ又ハ他ノ工人ト團結シテ会社業務ノ秩序ヲ紊シ作業ヲ怠リ其ノ他營業ノ妨礙ヲ為ス等一切ノ不良行為ヲ為ササルコト

(b)右誓約ニ反スル行動アルトキハ会社ヨリ直ニ解雇セラルルモ異存ナク且ツ直ニ工場ヨリ退去スルコト

(ロ)開工後会社ニ於テ前項ニ反スル不良工人ヲ解雇シタルトキハ市政府ハ直ニ該工人ヲ工場ヨリ退去セシメ且ツ他ノ工人ヲ煽動シ又ハ会社營業ヲ妨礙セサル様嚴重取締ルコト

二、会社ハ休業中ニ於ケル善良工人ノ苦痛ニ同情シ開工後二ヶ月間ノ作業成績良好ナルトキハ奨励金トシテ左記ノ通各工人ニ支給ス

右実行ニ関シテハ更ニ別紙ノ各項ノ実施方承認サレタキコト

三、救済金ハ五三十事件ノ前例ニ依リ二元ヲ限度トス

但シ外ニ一元ヲ支給スルモ絶対表面ニ表ハササルコト

四、開工後若シ紗廠規則ニ違反スルモノアルトキハ紗廠側ニ於テ隨時之ヲ解職シ又工人ノ新規採用ハ紗廠ノ自由タルヘシ

五、解雇者又ハ其ノ他ノ不良工人カ開工後善良工人ノ出勤及会社營業ノ妨礙ヲ為ササル様中国官憲ニ於テ嚴重取締ヲ勵行スヘキコト

715

昭和4年11月8日

在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島在華紡側は一般工人の生活深刻化による反工整會氣運を捉え自然復工による解決を画策並びこれに対し市政府側は解決案を提示について

青 島 11月8日後発

本 省 11月8日後着

第三三九号

往電第三二六号ニ関シ

工場問題其ノ後ノ成行左ノ如シ

会社側ハ昨今氣候寒冷ヲ加フルト共ニ失業工ノ困憊益々深刻化シ反工整会気分濃厚トナリ来レル此ノ機運ヲ利用シ工場閉鎖当初ノ目標タル職工ノ自然復工ニ依ル解決ヲ実現セシメントノ目論見ニテ折角画策ノ折柄突然工場問題解決ヲ表看板トセルヤニ伝ヘラルル馬市長ノ来任説伝ハリ来レル為旁吳市長相手ノ交渉ハ見送り気分愈助長サレ結局

(一)職工ノ反工整会気分ヲ煽リ自然復工ヲ誘致スルコト

(二)一ノ計画成功セス交渉手段ニ依ル場合ハ若シ同一条件ナ

ラハ新任ノ馬市長ニ花ヲ持タセルコト

ノ態度ヲ決定スルニ至レリ然ルニ吳思豫ハ数日前中央党部ヨリ工場問題ハ吳指導委員ニ命シ解決セシムトノ訓令ニ接シタルト一方自己ノ面子問題ヨリ是非共市長在任中解決ヲ計ラントノ意気込ナルモノノ如ク八日社会局長ヲ代理トシテ本官ノ許ニ派シ馬福祥来任スルモ国民政府ノ治下ニ在ル今日日本側ノ期待スルカ如キ果斷ナル解決方法ヲ執リ得サルハ明カナルノミナラス吳思豫ハ仮令市長ノ職ヲ退クモ尚

四、燐寸会社ハ職工ノ自然復工ヲ促ス為七日勧誘員ヲ田舎ニ派遣セリ

支、上海、南京、濟南、漢口ニ転電セリ

716 昭和4年11月15日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

馬福祥新市長の就任を機に工場開工問題交渉

解決の見込みについて

青 島 11月15日後発
本 省 11月15日後着

第三五一号

往電第三四三号ニ関シ

各社ノ試ミタル自然復工策ハ工整会ヲ中心トスル不良分子等躍起ノ妨礙ト市長更迭ニ依ル支那側官憲ノ取締不如意ニ起因シテ結局其ノ目的ヲ達成シ得サリシモ之カ為市党部及工整会方面ノ氣勢ヲ挫キ解決ノ氣運ヲ促進セルハ事実ニシテ四囲ノ状態今ヤ解決ニ最便ナルニ至レルノミナラス新任市長馬福祥亦就任最初ノ手柄トシテ此ノ際一氣ニ解決ヲ期シ吳思豫時代ノ主張譲歩ヲ仄シテ円満解決ヲ懇望シ居レル

党務指導委員ノ一人トシテ工場問題解決ノ枢機ニ与ル次第ニシテ其ノ辺ノ事情ニ付思違無キ様工場側ノ觀測ヲ是正シ此ノ際一、開工前不良工二百五十名ノ辭職ヲ承認ス二、辭職者ニ對シテハ手当三ヶ月分ヲ支給ス三、開工後ハ奨励金一人当テ五元ヲ支給ス

ノ条件ニテ解決方斡旋アリタキ旨申出アリ本官ハ前記支那側ノ言分ハ強チ我方牽制ノ懸引トノミハ速斷シ得ス相当考慮ヲ要スル点モアルヤニ思量セラレタル処一応工場側ニ取次クヘント約シ八日各工場主任ヲ招集シ吳市長申出ノ条件ニ付意見ヲ徴シタルニ協議ノ上回答スヘキ旨約シテ引取りタリ遅クモ明日迄ニハ回答アル筈

現在各社ノ職工出勤状況左ノ如シ

一、鐘紡、数日前ヨリ毎日三百五十名乃至五百名入廠試験的ニ「リング」十二台ノ運転ヲ開始セリ成績良好

二、青島支廠、新旧職工併セテ三百三十名入廠数日前ヨリ部分的ニ作業ヲ開始セリ毎日二三十名宛ノ新入廠アリ今月中ニハ旧状ニ復スル見込

三、紡績会社ハ百名乃至百五十名(雜役夫ヲ含ム)入廠機械ノ手入中

様ノ実情ナルニ付此ノ機ヲ逸セス交渉ヲ進メ九社一斉ニ解決ヲ計ル所存ニテ明十六日ヨリ重ネテ支那側ト未解決条件タル職工奨励金ノ割合等ヲ交渉スル筈尚本問題ニ付テハ最早双方主張ノ開キ甚大ナラサルコトトテ数日中ニハ解決ノ見込ナリ

右不取敢

公使、上海、南京、濟南、天津ニ転電セリ

717 昭和4年11月22日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

馬新市長との交渉の結果十一月二十六日各工

場開工により問題解決について

青 島 11月22日後発
本 省 11月22日後着

第三五八号

未タ調印ハ了ラサルモ(明二十三日馬市長ト本官トノ間ニ解決条件調印ノ筈)休業各工場(九社)ハ十一月二十六日ヨリ一斉ニ開工スルコトニ話纏リタリ右ニテ工場閉鎖問題モ解決済委細後報不取敢

支、天津、濟南、上海、南京、漢口、奉天、廣東へ転電セリ

718 昭和4年11月22日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

大日本紡績への工整会側の直接行動に対し市

長に嚴重警告市長は保安隊を増派について

付記 十一月二十日発伊知地(清弘)第二遣外艦隊

司令官より財部(彪)海軍大臣・加藤(寛

治)軍令部長宛電報、二遣機密一二三番電

大日本紡績への工整会乱入に対し藤田総領事

より陸戦隊の請求ありしも暫時形勢傍観につ

いて

青 島 11月22日後発

本 省 11月22日後着

第三五九号

往電三五六号ニ関シ

大日本紡ノ騷擾ハ当日(十九日)夕刻漸ク鎮靜ニ帰シタル

カ翌二十日ニハ鐘紡及長崎紡ノ両者ニ又復数百名ノ不良工

押寄せ大日本紡ノ二ノ舞ヲ演出セントスルカ如キ形勢ニ立
至リタルヲ以テ本官ハ急遽馬市長ヲ往訪シ嚴重警告ヲ発ス
ルト共ニ即時万全ノ手配方ヲ要求シタル処馬市長ハ頗ル恐
縮シ直ニ保安隊ヲ増派シテ警戒ニ當ラシメタル為幸事ナキ
ヲ得タリ然ルニ本二十二日午前十時頃約五百名ノ不良工再
ヒ鐘紡ノ門前ニ押寄せ内部職工トノ間ニ投石ヲ始め形勢悪
化セルヲ以テ本官ハ馬市長ニ対シ重ネテ嚴重取締ヲ要求ス
ルト同時ニ若シ支那側ノ取締依然徹底ヲ缺キ危害工場ニ及
フコトアルニ於テハ我方トシテハ已ムヲ得ス自衛ノ手段ヲ
講スルノ餘儀ナキニ至ルヘキヲ通告セル処馬ハ直ニ厲公安
局長ヲシテ保安隊ヲ率ヒ出動セシメタル為間モナク群集四
散シ平靜ニ帰シタルカ目下(午後三時)尚工人各所ニ集合
何事カ画策シツツアル模様ナルニ付案觀ヲ許サス折角警戒
ニ努メツツアリ尚本日鐘紡ノ騷擾ニ滄口派出所詰猪原警部
補及青柳巡查ノ兩名ハ急遽工場ニ赴ク途中群集ヨリ殴打サ
レタルモ左シタルコトニアラス新聞等ニ大袈裟ニ報道セラ
ルル虞モアルニ付御含ミ迄ニ申添フ

尚今回騷擾ノ原因ハ各会社カ既報ノ如ク既ニ多数ノ入廠工
ヲ擁シ一部ノ操業ヲ開始セル為党部及工整会ハ大イニ狼狽

シ自己ノ威信ヲ失墜スルモノナリトシテ馬市長ニ対シ入廠

工ヲ全部出場セシメ之ヲ一定ノ場所ニ集合シタル上開工ノ

際一度ニ入場セシムル様取計ヒ方要求セルモ馬ハ開工目睫

ノ間ニ差迫レル折柄斯ノ如キ措置ハ却テ得策ニアラストテ

体ヨク撥付ケタル為彼等ハ頗ル釈然タラサルモノアリ遂ニ

工人ヲ使喚シテ今回ノ直接行動ニ出テシメ馬市長ニ対スル

面当ヲ為スト共ニ党部及工整会ノ威信ヲ維持セントノ苦肉

ニ出テタルモノナルコト其ノ真相ナルカ如シ尚今回ノ騷擾

ニ伴ヒ各紡績共極度ニ神経過敏トナリ頻リニ陸戦隊ノ揚陸

ヲ要請シ海軍側亦万一ノ場合ニ処スル準備ヲ整ヘ居レルモ

本官ハ揚陸後ノ諸影響ヲ慮リ最後ノ必要ニ逼ル迄ハ之ヲ差

控フル所存ナリ御含迄

支、上海、南京、濟南、天津、漢口へ転電セリ

(付記)

四、一一、二〇 後三—〇 木 曾 発
後四—四七 海軍省着 (六二八)

第二遣外艦隊司令官

海軍大臣(佐鎮長官、九驅逐隊司令

軍令部長(一遣司令官、久保田、杉坂)

二遣機密一二三番電

当地紡績会社ハ数日来逐次出勤職工増加シツツアリシガ工
整会不良工糾察隊ノ策動アリ今二十日午前十一時頃四方日
本紡績会社ニ突然約一千名職工闖入シ暴動化ノ恐れアルガ
為総領事ヨリ陸戦隊ノ請求アリシモ目下支那官憲ヲ督励シ
鎮圧中ニシテ暫ク形勢ヲ傍観ス

二十日

719 昭和4年11月23日 在青島藤田総領事より
幣原外務大臣宛(電報)

青島紡績工場操業再開に関する取極めに調印

について

別電一 十一月二十三日発在青島藤田総領事より幣原

外務大臣宛第三六一号

青島紡績工場操業再開に関する取極め内容

十一月二十三日発在青島藤田総領事より幣原

外務大臣宛第三六二号

青島紡績工場操業再開に関する諒解事項

青 島 11月23日後発

本 省 11月23日後着

第三六〇号

往電第三五八号ニ関シ

本二十三日本官馬市長トノ間ニ九社開工ニ関スル取極メ
(別電甲号)ノ調印ヲ了セリ開工前後ノ取締リ其ノ他ノ我
方ノ希望ニ付テハ諒解事項(別電乙号)トシ支那側ニ交附
ノ筈尚別電甲ノ条件以外紡績側ヨリ市政府ニ対シ既出救済
費ノ半額三万二千五百元ヲ交附スル事トナリ居レルモ右ハ
船津ト支那側当局トノ極秘取極メトシ本官ハ関知セサル建
前トナリ居レリ御含迄(別電甲号ハ二十六日支那側ト同時
ニ発表ノ筈別電乙号ハ公表セス)

支、上海、南京、濟南、天津、漢口、奉天、廣東へ転電セ
リ

(別電一)

青 島 11月23日後発

本 省 11月23日後着

第三六一号

(別電甲号)

青島特別市長馬福祥及駐青日本総領事藤田榮介ハ九社(青

島糸廠、山東、華祥両燐寸会社及日本、内外綿、日清、鐘
ヶ淵、富士、長崎ノ六紡績)ノ開工ニ関シ左記ノ弁法ヲ議
定ス

一、二百五十名ノ工人ハ市政府ヨリ自発的ニ辭職ヲ勧告ス
其ノ声明ハ別冊ノ通

二、辭職職工ノ待遇

甲、紡績会社 一人ニ付銀四十元

乙、青島糸廠 一人ニ付銀二十元

丙、燐寸会社 一人ニ付銀十五元

三、復工工人ニ対スル待遇

甲、六紡績会社ハ工人一人ニ付銀四元ヲ交附ス

乙、青島糸廠ハ工人一人ニ付銀三元ヲ交附ス

丙、山東、華祥両燐寸会社ハ工人一人ニ付銀二元ヲ交附
ス

前二及三項ノ金員ハ会社側ニ於テ負担シ一時ニ市政府ニ
交附ス其ノ工人ニ交附スル弁法ニ付テハ市政府ヨリ会社
側ノ意見ヲ斟酌採納ス

四、九社工人ハ十一月二十六日ヨリ同時ニ復工スル事ヲ議
定ス若シ事実上各社工場ノ各部分同時ニ作業ヲ開始シ得

サル場合ハ出来得ル限り最短期間内ニ全操業ヲ為スヘキ
事ヲ約ス

各社工場各部ノ作業開始ノ時日ハ復工前日(即チ十一月

二十五日)各社ヨリ布告シ同時ニ総領事館ヨリ市政府ニ

通知ス

昭和四年十一月二十三日

中華民國十八年十一月二十三日

(別電二)

青 島 11月23日後発

本 省 11月23日後着

第三六二号

別電乙号

九社開工ニ関スル諒解事項

一、開工ノ際市政府ヨリ各工人ニ対シ会社規則ヲ厳守シ誠
実業務ニ服スヘキ様徹底的ニ説諭ヲ加ヘ且妄動取締ニ関
シ必要ナル布告ヲ発スル事

二、解職者其ノ他ノ不良分子ニ対シテハ市政府ニ於テ充分
其ノ行動ヲ監視シ開工後工人ノ出勤又ハ会社社營業ノ妨害

ヲ為ササル様嚴重取締ヲ勵行スヘキ事

三、開工後会社規則ニ反スル不良工人アル時ハ会社ニ於テ
隨時ニ之ヲ解職スヘキ事

右解職者ハ即時宿舍ヲ退去セシメ工場宿舍ヘノ出入ヲ一
切許ササルコト

四、工人ノ新規採用ハ従前ノ通会社ノ自由タル事

五、市政府、市党部其ノ他正規ノ機関カ工場宿舍内ノ工人
ニ対シ通知又ハ命令ヲ発スル必要アル時ハ豫メ工場側ト
打合せ其ノ承諾ヲ得ヘキ事

六、会社ノ承諾無クシテ会社構内ニ伝單ヲ撒布シ又ハ一切
ノ貼紙ヲ為ササル事

七、中国官憲ニ於テ工場及其ノ宿舍内ノ工人ニ付調査ヲ要
スル時ハ豫メ会社側ノ承諾ヲ經ヘキ事

八、市政府及市党部ノ工人ニ対スル党議ノ宣伝訓練ニ付テ
ハ会社側ニ於テ協力ヲ惜マサルモ其ノ時間方法等ハ豫メ
会社側ト打合せ作業ニ支障ナカラシムル事

九、市政府ハ左ノ事項ヲ確認ス

(一)人員又ハ作業上ノ都合ニ依リ機械ノ受持台数及場所ヲ
変更スル事アル事

(二)作業ノ都合ニ依リ一部ノ早出、居残り又ハ過剰公休セシムル場合アル事

一〇、開工後直ニ全運転ヲ為シ得サル場合ハ会社ノ必要トスル部分ノ工人ヨリ順次ニ出勤セシムル事

一一、二百五十名ノ解雇職工ハ開工前一律ニ宿舍ヨリ退出セシムル事

昭和四年十一月二十三日

中華民國十八年十一月二十三日

七 中国外交関係雑纂

1 孫文移柩祭および公使館昇格関係

720 昭和4年1月16日 在中国堀臨時代理公使より
田中外務大臣宛(電報)

外交団会議において首席公使より国民政府が
孫文葬儀挙行に当り中国駐在外交代表者の参
列を請う旨申越の次第披露について

北平 1月16日後発
本省 1月16日後着

第五四号

十六日外交団会議席上首席公使ヨリ今般南京政府側ヨリ三月二十日南京ニ於テ孫文ノ葬儀ヲ執行スヘキニ付テハ孫個人ニ対シテハ兎ニ角支那革命首領ニ対スル敬意ヲ表シ併セテ支那新政府ニ対スル列国ノ友情ヲ披露スル為列国ノ駐支外交代表者ニ参列ヲ請ヒ度旨申越ノ次第アリタル旨ヲ披露シ且本官ノ間ニ対シ右参列ハ信任状ノ帶有ヲ必要トセサル

コトヲ説明シタル上首席公使トシテハ之ニ好意的考慮ヲ加フル様各本国政府ニ進達方可然旨ヲ述ヘタルニ対シ米仏両公使ハ自分等ハ斯ル儀式ニ列スルコトハ仮令気乗セストモ畢竟義務ノ一ト心得政府ニ請訓スル迄モナク出席スヘシ唯旅行ノ便宜等ニ付首席公使ヨリ支那側ト交渉方ヲ希望スル旨ヲ述ヘ各員皆同意見ナリシカ本官ハ事柄夫レ自身ニハ異存ナキモ本件ハ芳澤公使ニ於テ自ラ考慮スヘキ問題ナリトテ終局的意見ヲ留保シ置キタリ
就テハ芳澤公使カ之ニ参列セラルルコトニ付何等御意見ノ次第モアラハ其ノ旨御回示アリタシ
上海、南京へ転電セリ

721 昭和4年2月(15)日 在上海上村総領事代理より
田中外務大臣宛(電報)

王外交部長より孫文国葬挙行に当り特使派遣
方並び記念樹寄贈を受けたい旨申越について